

T&Dハイブリッド証券ファンド 限定追加型1405

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2014年5月30日から2018年11月29日 (当初2019年8月20日)まで
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	<ul style="list-style-type: none"> ・コデイス・セキュリティーズS. A. が発行する円建ての「コデイス-リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券」(以下「担保付債券」といいます。)を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。 ・担保付債券の価格は、「リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド(適格機関投資家専用)」(以下「外国投資信託」といいます。)の値動きに連動します。 ・外国投資信託は、世界を代表する銀行および保険会社が発行するハイブリッド証券に投資を行います(ハイブリッド証券とは、企業の資金調達手段の一つで、債券と株式の性質を併せ持つ有価証券です。) ・ハイブリッド証券に投資する外国投資信託の運用は、リクソー・アセット・マネジメントS. A. S. から運用指図の権限を一部委託されたリクソー・インターナショナル・アセット・マネジメントS. A. S. が行います。 ・原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。 ・担保付債券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、組入比率は原則として高位を保ちます。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 有価証券先物取引等の利用は、ヘッジ目的に限定します。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

運用報告書(全体版)(繰上償還) (償還日 2018年11月29日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「T&Dハイブリッド証券ファンド限定追加型1405」は、2018年11月29日に信託約款の規定に基づき繰上償還となりましたので、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

これまでのご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<http://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率			
設 定 日 2014年5月30日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 4,674
1 期 (2015年2月20日)	10,041	50	0.9	99.0	—	8,264
2 期 (2015年8月20日)	9,946	70	△0.2	98.5	—	7,798
3 期 (2016年2月22日)	9,500	70	△3.8	98.3	—	7,015
4 期 (2016年8月22日)	9,834	70	4.3	98.5	—	6,762
5 期 (2017年2月20日)	9,853	50	0.7	98.3	—	6,236
6 期 (2017年8月21日)	10,057	40	2.5	98.0	—	5,653
7 期 (2018年2月20日)	10,014	30	△0.1	98.9	—	5,000
8 期 (2018年8月20日)	9,776	0	△2.4	86.7	—	4,404
償 還 日 9 期 (2018年11月29日)	(償還価額) 9,691.45		△0.9	—	—	833

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること、特定の指数を上回ることを目的として運用していないことから、比較対象となる適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		
期首 (前期末) 2018年8月20日	円 9,776	% —	% 86.7	% —
8 月 末	9,789	0.1	91.7	—
9 月 末	9,777	0.0	89.6	—
10 月 末	9,744	△0.3	62.4	—
償 還 日 2018年11月29日	(償還価額) 9,691.45	△0.9	—	—

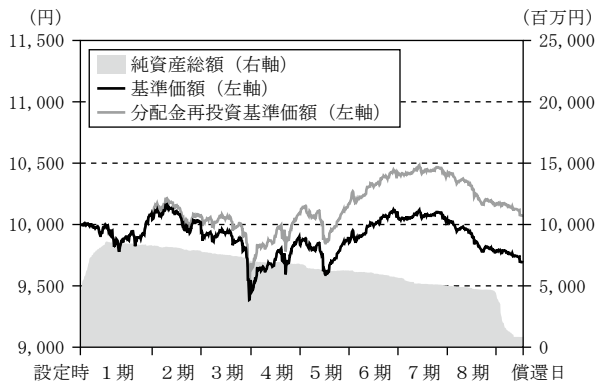
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること、特定の指数を上回ることを目的として運用していないことから、比較対象となる適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

設定以来の運用状況

■ 基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2014年5月30日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドは自動継続投資コースがないため、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- (注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

■ 基準価額の主な変動要因

基準価額（分配金再投資ベース）は、ハイブリッド証券の市場動向に沿った動きをする中で、保有銘柄からのインカム収益等が運用に係る諸費用負担等を上回った結果、上昇しました。

■ 投資環境

【ハイブリッド証券市場】

設定から2015年4月頃までのハイブリッド証券市場は、概ね良好に推移しました。ポルトガルの大手銀行の経営悪化、ECB（欧州中央銀行）によるストレステスト（健全性審査）の結果等が懸念されましたが、ECBの緩和的な金融政策等を追い風にしたハイブリッド証券に対する根強い需要が市場を下支えました。

2015年5月頃から2016年11月頃までは、ハイブリッド証券価格の変動性が高まり対国債スプレッド^(注)は拡大基調で推移しました。2016年6月にBrexit（英国の欧州連合脱退）が決定したことにより英国の銀行の将来見通しに不透明感が高まったこと、イタリアの銀行の不良債権の実態が明らかになるにつれ同国の金融システムについての不安が高まったこと、ドイツ銀行が過去のRMB S（住宅ローン担保証券）の不適正販売について米国司法省から多額の制裁金を課せられたことなどが背景となりました。

2016年12月頃から2017年12月頃までは、ハイブリッド証券の対国債スプレッドは縮小し概ね堅調に推移しました。これは、主要銀行の決算が全般的に概ね堅調であったこと、経営が悪化したイタリアのモンテ・デイ・パスキ・ディ・シエナ銀行に対してイタリア政府の資本注入による支援が実行されたことなどが要因となりました。また、2016年11月に英国のスタンダード・チャータード銀行が期限前償還の見送りを決定したことが話題になりましたが、この頃から主要銀行のハイブリッド証券の期限前償還が見送られるケースが散見されるようになりました。

2018年1月頃から償還日までは、ハイブリッド証券の対国債スプレッドは再度拡大に向かいました。年初に米欧の国債金利が急上昇したこと、米国を取り巻く貿易摩擦が激化する不安が高まったこと、新興国通貨等の混乱についての懸念が強まったことなどにより、主要国の株価の変動性が高

まり急落する場面が度々みられたことなどが要因となりました。

(注) 対国債スプレッドとは、社債等と国債の利回り格差で、社債等の需給が悪化したり、発行体の信用力が悪化したりすると、対国債スプレッドは拡大します。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

主要投資対象である「コデイス-リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券」の組入比率は、2018年7月頃までは高位を保っていましたが、8月頃から、解約に伴う資金流出に対応するために余裕資金をやや多めに保有したことにより、従来に比べ若干低い水準で推移しました。10月23日に繰上償還を決定してからは、さらに組入比率を下げ、11月下旬よりコールローン等による安定運用に移行しました。

【コデイス-リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券】

「コデイス-リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券」の価格は「リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド（適格機関投資家専用）」（以下、外国投資信託）の動きに概ね連動しました。

外国投資信託の価額は、ハイブリッド証券の市場動向に概ね沿う形で推移しました。設定時から2015年4月頃までは、多少上下に振れる場面はあったものの概ね堅調に推移しました。2015年5月頃から2016年11月頃までは、途中反転上昇する場面があったものの比較的低調に推移しました。2016年12月頃から2017年12月頃までは、再度上昇に転じました。2018年1月頃から償還日までは下落基調で推移しましたが、これは市場動向に加えて、期限前償還したハイブリッド証券の再投資が困難になり現金比率が高まったこと、解約に伴う資金流出によるファンドサイズの縮小が運用に係る諸費用負担の増加につながったこと、為替ヘッジコストが上昇したことなどが要因でした。

＜リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド（適格機関投資家専用）の組入状況＞ 2018年10月末現在

国別組入比率

国	比率
アメリカ	6.2%
現金等	93.8

組入銘柄

	銘柄名	利率	償還日	国	業種	比率
1	JPMORGAN CHASE & CO	5.990%	2019/1/30	アメリカ	銀行	6.2%

業種別組入比率

業種	比率
銀行	6.2%
現金等	93.8

- (注) 比率は、「リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド（適格機関投資家専用）」の純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注) 組入状況は、リクソー・インターナショナル・アセット・マネジメント S.A.S. より入手した情報をもとに当社が作成したものです。基準価額への反映を考慮して、前営業日の情報を表示しております。
 (注) ハイブリッド証券の組入比率は、為替ヘッジに係る借入れ等の影響で100%を超える場合があります。
 (注) 繰上償還条項が付与されている銘柄につきましては、繰上償還発効日を償還日に記載しています。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

1 万口当たりの費用明細 (2018年 8 月 21 日から 2018 年 11 月 29 日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2018/8/21~2018/11/29		
	金額	比率	
平均基準価額	9,770円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	24円	0.248%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(9)	(0.090)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(15)	(0.149)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.009)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.016	(b) その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託に係る手数料
合計	26	0.264	

- (注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
(注) 担保付債券の発行費用等につきましては時価に反映されております。
(注) 「比率」欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2018年 8 月 21 日から 2018 年 11 月 29 日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	社 債 券	—	3,272,174 (518,742)

- (注) 金額は受渡代金 (経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。
(注) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注) 社債券には新株予約権付社債 (転換社債) は含まれておりません。

当期中の主要な売買銘柄 (2018年 8 月 21 日から 2018 年 11 月 29 日まで)

公社債

買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金額		金額	
千円		千円	
—	—	コデイス・リクソー・ハイブリッド・ セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券	3,272,174

- (注) 金額は受渡代金 (経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2018年8月21日から2018年11月29日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2018年11月29日現在)

償還時における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2018年11月29日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 837,407	100.0 %
投資信託財産総額	837,407	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および償還価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および償還価額の状況

2018年11月29日現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	837,407,544円
コール・ローン等	837,407,544
(B) 負 債	4,297,997
未払信託報酬	4,252,205
未払利息	1,723
その他未払費用	44,069
(C) 純資産総額(A-B)	833,109,547
元 本	859,633,191
償還差損益金	△ 26,523,644
(D) 受益権総口数	859,633,191口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,691円45銭

(注) 期首元本額 4,505,562,080円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 3,645,928,889円

(注) 元本の欠損
 償還時現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は26,523,644円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.969145円です。

損益の状況

当期 自2018年8月21日 至2018年11月29日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,184,162円
そ の 他 収 益 金	1,258,885
支 払 利 息	△ 74,723
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△13,663,949
売 買 損 益	951,108
売 買 損 益	△14,615,057
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,573,502
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△17,053,289
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 9,164,539
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 305,816
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 305,816)
(G) 償 還 差 損 益 金(D+E+F)	△26,523,644

(注) 損益の状況の中で
 (C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。なお、当期中の追加設定はありません。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年5月30日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2018年11月29日			資産総額	837,407,544円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	4,297,997円	
				純資産総額	833,109,547円	
受益権口数	4,674,112,850口	859,633,191口	△3,814,479,659口	受益権口数	859,633,191口	
元本額	4,674,112,850円	859,633,191円	△3,814,479,659円	1万口当たり償還金	9,691.45円	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	8,230,711,638円	8,264,202,280円	10,041円	50円	0.5000%	
第2期	7,840,983,654	7,798,365,764	9,946	70	0.7000	
第3期	7,383,952,635	7,015,074,815	9,500	70	0.7000	
第4期	6,877,026,746	6,762,804,873	9,834	70	0.7000	
第5期	6,329,941,494	6,236,885,291	9,853	50	0.5000	
第6期	5,621,684,372	5,653,527,834	10,057	40	0.4000	
第7期	4,992,996,345	5,000,007,326	10,014	30	0.3000	
第8期	4,505,562,080	4,404,453,815	9,776	0	0.0000	

償還金のご案内

1万口（元本10,000円）当たり償還金（税込み）

9,691円45銭

《お知らせ》

2018年11月28日に投資信託契約解約届出書を金融庁に提出しました。